

岩見沢市地域旅客運送サービス継続実施計画

- 岩見沢市東部丘陵地域において運行している路線バス「万字線」（北海道中央バス株）は、沿線地域の人口減少に伴い、利用者が年々減少、赤字の拡大が続いているため、令和4年3月末をもって廃止予定。
- 沿線地域では、店舗や医療機関、生活関連施設などが乏しく、路線バス撤退後の市街地への交通確保のために、令和3年7月より岩見沢市において「地域旅客運送サービス継続事業」の実施に向け、協議会で協議を開始。
- 令和3年9月に継続事業者を公募し、10月にタクシー事業者（日の出交通株）に決定。ワゴンタイプ車両（10人乗り程度）を使った車両のダウンサイジングと事業の効率化による収支改善を目的とした地域旅客運送サービス継続事業実施計画を作成。

事業の内容

・ワゴンタイプ車両による乗合路線定期運行

ワゴンタイプ車両（10人乗り程度）による乗合路線定期運行によってサービスを継続。

路線バス「万字線」の路線をカバーしつつ、一部路線が重複していた無料の市営バス「万字線」の路線もカバーする。

ダイヤは路線バス「万字線」をもとに、利用状況を踏まえた時間帯で運行、バスロケーションシステムを導入し利用者のスマートフォンなどに情報提供することで利便性が向上、地域旅客運送サービスの維持を図る。

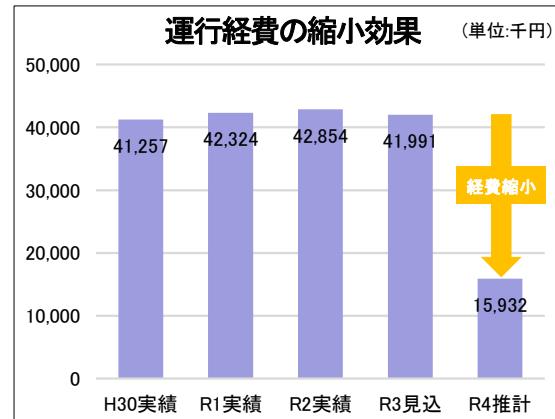
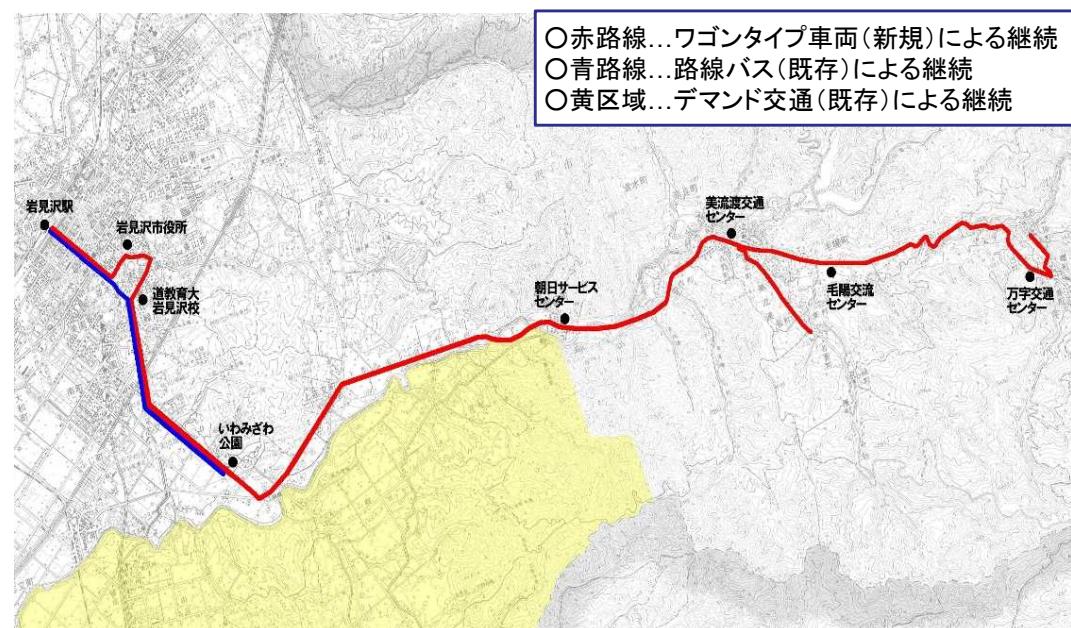
事業の効果

・住民ニーズに合わせた市中心部へのアクセス性の向上

路線バス「万字線」においては、岩見沢ターミナル～教育大学間を考慮したダイヤ設定となっていたが、東部丘陵地域住民に配慮したダイヤ、路線とすることで利用者の増加が図られる。

・車両小型化による事業効率化・収支圧縮

車両を大型バスからワゴンタイプ車両へ変更することにより赤字の縮小、岩見沢市の負担額の縮小が図られる。



人口減少が続いているものの、豊かな自然環境などから移住者が増えている地域もあり、今後も、通学などの生活交通の確保が重要となっている。

・作成自治体 北海道岩見沢市

・事業実施区域 岩見沢市栗沢町万字地区 (ほか)

・事業実施予定期間 R4年4月～R8年3月